

令和4年度  
福岡市市民福祉プラザ事業報告

福岡市社会福祉協議会・旭商会共同事業体

# I 令和4年度福岡市市民福祉プラザ事業の実施状況

## 1. 市民福祉プラザの管理運営方針

福岡市社会福祉協議会・旭商会共同事業体（以下「当事業体」という。）は、運営委員会、現場責任者会議、安全・サービス向上委員会を設置して（資料編P1）、密接な連携による安全安心な管理運営を行うとともに、指定管理者として4つの機能、「民間の福祉活動の拠点機能」「情報提供及び相談機能」「研修機能」「交流機能」の充実を図るため、それぞれが持つ企画力や組織力、事業実績、専門性、関係団体や企業等とのネットワーク等を活用して、市民が相互に助け合い、支え合う豊かな福祉社会の実現を目指した。

なお、新型コロナウイルス感染症は未だ収束には至らないが、行動制限が段階的に解除される中、拡大防止対策を状況に応じて適切に行つた。また、台風接近による対応を迅速に行うとともに、福祉避難所としての体制を整えた。

### (1) 社会福祉協議会の強みを生かした管理運営

代表構成団体の福岡市社会福祉協議会（以下「本会」という。）は、地域福祉における活動を通じて福祉全般にわたる豊富な経験と知識、ノウハウやネットワークを有する社会福祉法人である。各種福祉団体と日ごろから様々な連携を行っているほか、本会内に設置されているボランティアセンターなどで、ボランティアの育成や、市民ボランティアとの連携なども行っている。

プラザの管理運営にあたっては、これまでの地域福祉活動で培ってきた経験や、幅広いネットワークなど、本会の強みを生かし「民間の福祉活動の拠点機能」を充分に発揮する管理運営を行つた。

市民福祉講演会の企画にあたっては、本会からの地域福祉活動の課題に基づいた提案により、時宜を得た講演会を現場で活躍する講演者で行つた。

さらに、隔月開催の「プラザ連絡会」において、各種入居団体との間に築いてきた信頼関係に基づき、より緊密な連携を図つた。

### (2) 市民目線での管理運営

入居団体で構成する「安全サービス向上委員会」を設置し、入居団体の訪問者や施設の利用者などの情報を収集し、サービス向上策を検討し、視聴覚設備常設により利用者負担の軽減を図つた。

また、利用者アンケートを定期的に行い、意見箱を設けるなど、これを活用した市民目線でのサービス向上を図つた。

市民から寄せられた意見をもとに、オンラインでの会議が安定して開催できるよう、会議室・研修室のWi-Fiスポットを増設し有線LANを設置することで、インターネット通信環境の更なる整備を図つた。また、子連れ等が利用しやすいように救護室・授乳室を充実させた。

### (3) 安全・安心と万全な危機管理

施設の管理運営においては、利用者の安全・安心を最優先に行った。新型コロナウイルス感染症等対策として、従来実施していた館内3カ所への手指消毒剤、体温測定器の常時設置やポスター、サイネージ等での啓発に加え、令和3年度から引き続き施設内の備品などのレイアウト変更、共有部のアルコール清拭、サーキュレーター設置による換気促進などを行い、段階的に対応した。

また、「救マーク認定証」交付施設として、プラザ関係職員の誰もがAEDや人工呼吸などの救急時の初動対応ができるよう、普通救命講習や施設の消防設備講習を実施した。

### (4) 効率的な管理運営

体感室温に即した空調管理や、施設運営と連携した効率的な点灯管理などをきめ細かく行い、盛夏時には遮光を工夫し、室内にサーキュレーターを配置して体感温度を下げるなど、様々な工夫により、省エネルギーに努めた。

[運営委員会・現場責任者会議の開催状況]

実施日	内容	参加者(人)
4月12日	・市民福祉プラザ利用状況（3月分）・光熱水費実績（3月分） ・苦情、意見箱（3月）・施設の管理業務 ・事業計画	6
5月10日	・市民福祉プラザ利用状況（4月分）・光熱水費実績（4月分） ・苦情、意見箱（4月）・施設の管理業務 ・令和3年度事業報告（案）・令和3年度指定管理者評価シート（案）	5
6月14日	・市民福祉プラザ利用状況（5月分）・光熱水費実績（5月分） ・苦情、意見箱（5月）・施設の管理業務	5
7月13日	・市民福祉プラザ利用状況（6月分）・光熱水費実績（6月分） ・苦情、意見箱（6月）・施設の管理業務 ・アンケート強化月間（案）	6
8月9日	・市民福祉プラザ利用状況（7月分）・光熱水費実績（7月分） ・苦情、意見箱（7月）・施設の管理業務 ・アンケート強化月間（案）	6
9月13日	・市民福祉プラザ利用状況（8月分）・光熱水費実績（8月分） ・苦情、意見箱（8月）・施設の管理業務 ・台風時の人員体制	5
10月11日	・市民福祉プラザ利用状況（9月分）・光熱水費実績（9月分） ・苦情、意見箱（9月）・施設の管理業務 ・台風時の人員体制・・アンケート強化月間速報	6
11月8日	・市民福祉プラザ利用状況（10月分）・光熱水費実績（10月分） ・苦情、意見箱（10月） ・アンケート強化月間報告・施設の管理業務	6
12月13日	・市民福祉プラザ利用状況（11月分）・光熱水費実績（11月分） ・苦情、意見箱（11月）・施設の管理業務	5
1月10日	・市民福祉プラザ利用状況（12月分）・光熱水費実績（12月分） ・苦情、意見箱（12月） ・アンケート強化月間・施設の管理業務	5
2月14日	・市民福祉プラザ利用状況（1月分）・光熱水費実績（1月分） ・苦情、意見箱（1月）・施設の管理業務 ・令和5年度事業計画	5
3月14日	・市民福祉プラザ利用状況（2月分）・光熱水費実績（2月分） ・苦情、意見箱（2月）・施設の管理業務 ・令和5年度事業計画	5

[安全・サービス向上委員会の開催状況] (P 7)

## 2. 福祉関係団体との連絡調整

本会を構成している地域団体や民間・行政の福祉関係団体・機関、ボランティア団体等との連絡調整を行い、市民福祉プラザの基本理念である市民の主体的な福祉活動への参加を支援した。

(1) プラザ入居団体、利用団体、地域団体等と懇談会を行い、相互に連携、情報交換を図った。

### ① プラザ入居団体による「プラザ連絡会」の実施

実施日	内容	参加者(団体)
4月12日	・貸室の優先利用 ・令和4年度プラザ事業計画 ・連絡、情報交換	12
6月14日	・貸室の優先利用・令和5年度消防訓練 ・連絡、情報交換	12
8月9日	・貸室の優先利用 ・プラザの避難所としての役割 ・連絡、情報交換	10

10月11日	・貸室の優先利用 ・令和5年度1・2・3月分の福岡市委託事業の優先利用 ・アンケート強化月間報告 ・連絡、情報交換	11
12月13日	・貸室の優先利用 ・ロビーの利用 ・第2回消防訓練 ・連絡、情報交換	11
2月14日	・貸室の優先利用 ・応接5 ・連絡、情報交換	11

(2) 当仁校区自治協議会連絡会議への参加

当仁校区自治協議会連絡会（毎月1回開催）に「市民福祉プラザ」として参加し、プラザで実施される事業の広報や、地域の活動状況を入居団体に知らせるなど地域との交流のきっかけづくりを行った。

参加回数 年7回

(3) 利用団体掲示板の設置

掲示板等によりプラザ来館者にプラザを利用団体の情報を提供した。

(2) ボランティアグループとの懇談会

実施日	内容	参加者
2月25日	ボランティア連絡協議会等との意見交換	5団体7人

(3) 団体連絡室を利用する団体との懇談会

実施日	内容	参加者(団体)
3月1日	団体連絡室利用団体との意見交換	5

(4) 部会・委員会の意見反映

本会と密接な関係のある団体・施設による部会（民生委員児童委員部会、地域福祉部会、施設部会）及び、各種委員会などの活動を通じて把握した地域の福祉課題や市民意識を、プラザが行う福祉啓発事業に反映させた。

### 3. 福祉に関する図書、資料等の収集及び福祉情報の提供

(1) 福祉図書・情報室の運営（福祉関連図書・雑誌等の資料の収集、閲覧・貸出業務、レファレンスサービス、インターネット検索等）

※台風により9月19日は休室

[福祉図書情報室蔵書数]

図書(冊)	ビデオ・DVD(本)
31,016	786

[利用者数等]

利用者(人)	貸出		新規利用登録者(人)	レファレンス(件)
	図書(冊)	ビデオ・DVD(本)		
24,444	9,947	519	265	627

(2) 試読本サービス

プラザ入居団体等が開催する研修・イベント等で試読本を会場に設置し、福祉資料の情報提供を行った。

(3) 視覚障がい者の方へのサービス

対面朗読サービス、「プラザだより」点訳版、音訳版CDを製作するとともに、大活字本、拡大読書器及び音声訳機を設置している。

対面朗読サービス(件)	「プラザだより」点訳版	「プラザだより」音訳版
38	5冊／号	13本／号

(4) 市民福祉プラザ情報紙「ふくふくプラザだより」の発行及びホームページによる広報

○「ふくふくプラザだより」：月刊 3, 000部／回

○ホームページアクセス数：185, 113件

(5) 当事者及び利用団体のPR

「ふくふくプラザだより」などの広報媒体等を活用し、プラザ入居団体や利用団体の活動を幅広く広報した。

(6) 子ども向け福祉図書の充実

子どもの本コーナーを設置し、福祉に興味を持つきっかけとなる絵本・児童書等を配架し充実を図った。

児童書蔵書数 1, 861冊

(7) 福岡県図書館情報ネットワークへの参加

福岡県図書館横断検索を行うことで、図書館間の連携を深め、福祉資料の所蔵に関する情報提供を行った。

(8) 図書館との相互貸借

他都市及び市内図書館との連携を深め、福祉資料の提供を行った。

(9) 新着図書情報のメール配信

図書室に新しく入った図書情報を、テーマ別に希望者にメール配信した。

配信件数 554件

(10) フェイスブックによるイベント等の情報発信

フェイスブックを活用して、利用団体のイベントやプラザのお知らせなどを目に見える情報として発信し、幅広い世代への利用促進を図った。

(11) 福岡市総合図書館との相互返却

福岡市民図書館と連携し、市内の図書館と図書の相互返却を行うことで、利用者の利便性を高めた。

相互返却件数 他館 17, 492冊 自館 1, 911冊

#### 4. 福祉に関する相談

市民からの相談に対応するため、プラザ入居団体で各種相談窓口を設置し、一般的・専門的な相談サービスを提供するとともに、各種相談サービスの充実・強化が図られるよう「ふくふくプラザだより」やホームページでPRするなどの支援を行った。

併せてプラザ外で実施されている福祉相談窓口との連携が図られるよう、連絡調整を行うとともに、プラザ相談員研修会、交流会を開催し相談機能の充実を図った。

(1) 相談員研修会・交流会

プラザにおいて相談サービスに従事している相談員などを対象に、資質向上と窓口間の連携を図るため研修会を実施した。

実施日	内容	参加者(人)
2月24日	「個人情報保護と相談業務」について 講師：弁護士 岩城和代氏	16

(2) 本会及び入居団体、団体連絡室利用団体の相談事業 ※各団体の直接事業

実施団体	相談内容	件数(件)
福岡市社会福祉協議会	終活相談	210
ふくおか福祉サービス協会 (介護実習普及センター)	介護技術・福祉用具相談造相談	2, 158
	住宅改造相談	1, 821
	自助具相談	5
福岡市身体障害者福祉協会	障がい者 110番	1, 403
	障がい者差別解消相談	83

福岡市手をつなぐ育成会	知的障がいに関する相談	50
認知症の人と家族の会	福岡市認知症介護相談事業	34
福岡市聴覚障がい者情報センター	聴覚障がい者の相談	281
福岡市原爆被害者の会	原爆被害者相談	1,269
福岡市遺族会連合会	遺族者相談	124
福岡市精神保健福祉協議会	精神障がい者の家族相談	55
福岡市ろうあ協会	ろうあ者相談	60

## 5. 福祉に関する研修及び啓発

(1) 市民を対象に、福祉についての正しい理解と福祉意識の高揚を図り、新たな福祉人材を育成するため、プラザを利用した催しや見学案内等を行った。

### ① 市民福祉講演会

今日的福祉課題に対応したテーマを設定した福祉啓発研修を実施し、市民の関心・理解につなげた。

実施日	内容	参加者(人)
6月7日	「はなちゃんのみそ汁」 ～大切な人を亡くした後、どう生きますか～ 講師：ノンフィクション作家・映画監督 安武信吾氏	128
8月10日	「言葉がつなぐ、絆の伴走」～絆で掴んだ金メダル～ 講師：ホップ！ステップ！カムラック！ 管理者 堀内規生氏	62
10月13日	「講談で学ぶ、成年後見制度」～安心して老後を迎えるために～ 講師：講談師 神田織音氏	103

### ② 施設見学者案内

障がい者や高齢者への理解を深めるとともに、ボランティア活動や他の福祉活動への関心を広げる機会を提供するため、プラザの見学案内を受け入れた。

24団体	514人	(内訳)	国内 22団体	480人
			海外 2団体	34人

### (2) 障がい者作品展（再掲P6）

12月の障がい者週間にあわせて、福祉団体・施設から寄せられた障がい者の絵画や写真などを喫茶室内及びロビーで展示し、障がい者福祉の啓発に努めた。

実施日	内容	参加事業所
12月1日～26日	絵画、写真など44作品	博多・南・城南・早良・西障がい者フレンドホーム、葦の家、福岡療友会

### (3) バリアフリー映画上映会（再掲P6）

市民の福祉意識やボランティア意識の高揚を図ることを目的に、障がい者も一緒に鑑賞できる副音声や字幕入りの福祉映画鑑賞会を計画した。

実施日	内容	参加者(人)
11月23日	映画「おらおらでひとりいぐも」	142

## 6. 福祉活動推進のためのプラザの施設の提供

民間の福祉活動の拠点・交流・研修機能として、福祉活動に参加する市民に会議室や研修室、実習室、ホール等、研修・交流の場を提供し、市民の福祉活動を支援した。（資料編：P2）

貸出にあたっては、事前の説明・案内等及び利用の際の助言等を行い、利便性の向上を図った。

### [ 貸出施設等 ]

○団体事務室（14団体）	○会議室（3室）	○研修室（7室）
○各種実習室（7室）	○ふくふくホール	○交流ひろば

障がい者や高齢者の利用が多いというプラザの特徴を鑑み、マイク、プロジェクター、スクリーンを常設する研修室を増やし、視聴覚物品等の移動に伴う負担を軽減した。

新型コロナ感染症の拡大に伴う新しい生活への移行に伴うオンラインでの会議に対応できるよう、既設のWi-Fi環境に加え、有線の環境整備を実施するとともに、パソコンなどの接続に必要な備品を常設した。

## 7. その他の事業等の企画・実施

### (1) 「みんなでふくし&ふくふくプラザバリアフリー映画祭」（再掲P5）

実施日	内容	参加者(人)
11月23日	映画「おらおらでひとりいぐも」	142

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

### (2) 「とうにん・ふくふくコンサート」

ふくふくホールの「音響の良さ」を十分に活用し、「どなたでも良質な音楽を楽しめる」音楽会を、当仁校区自治協議会、当仁公民館と共催して開催した。

実施日	内容	参加者(人)
1月15日	コンサート当仁中学校ビッグバンド)	230
3月27日	コンサート(当仁中学校ビッグバンド) 昼の部・夜の部	200 230

### (3) 「デジカメ写真入門講座」

高齢者の方を中心に、趣味として写真を始めたい人を掘り起こし、写真の知識や楽しさを学んでいただくことで高齢者の社会参加を図ることを目的に、デジカメ写真入門講座を開催した。

実施日	内容	参加者(延人)
7月22日・29日 <連続講座>	「シャッターチャンスを活かす方法」講義と実技 講師 ミノシマカメラ 代表 安川英一氏	33
10月21日・28日 <連続講座>	「身近な人を素敵に撮ってみよう」講義と実技 講師 ナチュラルライトスタジオ 代表 五條堀一巳氏	42

### (4) 「ふくふくプラザ写真展」

実施日	参加団体
5月31日～6月13日	キヤノンフォトクラブ福岡、デジパソサークル福岡
6月15日～6月28日	写心グループ、TTフォトソポーター
6月30日～7月13日	サンフォト俱楽部、福岡読売写真クラブ
7月15日～7月28日	日本風景写真協会、SEIEN写真俱楽部

## 8. 喫茶室、売店の運営

利用者の利便を図ることを目的に、障がい者の就労に配慮した喫茶室を運営した。また、喫茶室の運営にあたっては、プラザの設置目的に合致する運営を行い、飲食の提供と喫茶室のスペースを利用して障がい者の作品を展示して、福祉啓発を行った。

市内の授産製品を紹介する売店を運営し、販売を行うことで、障がい者就労支援施設を支援し、市民に製品を通して福祉啓発を行った。

## 9. プラザの利用サービス向上策

### (1) プラザホームページ、フェイスブックによるPRの強化（再掲P4）

### (2) プラザエントランスホールの活用

入居団体や関係機関にプラザエントランスホールを写真、イラスト、パネル、ポスター掲示による福祉啓発スペース等として提供した。

実施日	内容	実施団体
7月16日～29日	パラスポーツの展示	福岡市障がい者スポーツ協会
8月1日～11日	77年目の原爆展	福岡市原爆被爆者の会

10月6日～12月28日	赤い羽根共同募金運動	共同募金会福岡市支会
12月1日～26日	障がい者作品展	指定管理者
12月4日～10日	人権尊重週間人権ポスター展示	当校校区人権尊重推進委員会
1月21日～22日	ふくふくフェスティバル	福岡市障害者スポーツ協会
3月18日～26日	世界ダウン症の日写真展 in 福岡	ダウン症協会福岡支部

(3) 多様な媒体による予約の推進

利用登録団体の利便性とサービス向上のため、インターネットをはじめ、一部障がい者団体等を対象とした電話、ファックスにより貸室予約を受け付けた。

(4) アンケート調査及び関係団体との意見交換の実施

利用者の満足度を高め、より多くの市民に利用してもらうために、利用者へのアンケート調査やボランティア連絡協議会・障がい者団体等との意見交換、利用者への聞き取りなどを通じて意見・要望等を把握し、管理・運営の改善とサービス向上に反映させた。

① アンケート調査の実施（資料編：P 4～13）

施設利用時にアンケート用紙を配布し、職員の対応・施設の使い勝手等についての意見・要望を受け、対応を検討するとともに「安全・サービス向上委員会」等で報告し、館内掲示板及びホームページで公開した。

※ アンケート回答者 1,310人

② ご意見箱の常設

館内3カ所に「ご意見箱」を設置し、寄せられた意見へ対応するとともに、対応を掲示し、「安全・サービス向上委員会」で報告した。

意見数 21件

③ 入居団体、利用団体との意見交換（再掲P 2～3）

ア 入居団体との意見交換

イ 利用団体との意見交換会

i 団体連絡室利用団体との懇談会

ii 福岡市ボランティア連絡協議会との懇談会の実施

④ 「安全・サービス向上委員会」の開催

市民福祉プラザで直接管理運営に従事する職員が、相互に連携して円滑な業務遂行を図るとともに、プラザ利用者の安全性と利便性及びサービスの向上を図ることを目的に開催した。

なお、プラザ利用者の安全に関して緊急に対応が必要な場合は、個別に対応を協議した。

実施日	内容	出席者
4月12日	・令和4年度事業計画 　・令和4年度消防訓練 ・研修 　・連絡 ・安全・サービスについての意見交換	11事業所
7月12日	・新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対応 ・福祉避難所としての役割 ・アンケート強化月間（案） 　・苦情・ご意見箱意見 ・連絡 　・安全・サービスについての意見交換	11事業所
10月11日	・新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対応 ・アンケート強化月間速報 　・苦情・ご意見箱意見 ・連絡 　・安全・サービスについての意見交換	11事業所
1月10日	・アンケート強化月間の報告 ・苦情・ご意見箱意見 ・連絡 　・安全・サービスについての意見交換	10事業所

⑤ 指定管理関係職員と入居団体職員等を対象とした接遇研修・人権等研修の実施

（10. 職員研修の実施）のとおり

⑥ プラザ周辺駐車場案内地図の設置

車での利用者の便宜を図るため、市民福祉プラザ周辺の駐車場案内地図を管理事務室窓口に設置した。

(5) プラザ施設利用時の託児サービスの実施

利用者が安心して施設の利用ができるよう、利用者からの依頼に応じ、ボランティアグループ（「ふふ」と「くく」）の協力により館内での託児サービスを実施した。

実施回数 14回、託児人数 64人、保育士数 36人（資料編：P 3）

(6) プラザ周辺の清掃活動の実施

毎月第3火曜日の昼休み時間に、入居団体職員によるプラザ周辺の地域清掃活動を行った。

実施回数	参加者
9回（7.12月は雨天、8月は猛暑により中止）	入居団体 13団体、延 138人

## 10. 職員研修の実施

市民サービスの充実のため、職員に対する人権研修等を実施したり、市が主催する研修等に参加したりして、職員の資質の向上を図った。

開催日	内容	主催	参加者(人)
4月 12日	消防設備講習	指定管理者	20
4月 26日	普通救命講習	指定管理者	19
5月 12日	館内案内	指定管理者	16
7月 12日	人権研修	指定管理者	15
9月 28日～2月 8日	指定管理者向け人権研修	福岡市	11

## 11. 危機管理に関する取組み・体制

(1) 感染症への対応

新型コロナウイルス感染症の拡大以来、従来からインフルエンザ等への対応として実施していた玄関や通用口、地下駐車場入口の3箇所への手指消毒液設置に加え、咳エチケット・手洗い・感染症対策等啓発ポスター、サイネージの掲示、館内備品のレイアウト変更、エレベーターボタンなどの清拭などを流行状況に合わせて行った。

(2) 災害への対応

① 防火管理委員会の設置、開催

プラザ入居団体により構成する防火管理委員会を開催し、防火管理業務の適切な運営を図った。

実施日	内容
3月 16日	第1・2回消防訓練報告、令和4年度消防計画(案)、消防訓練(案)

② 自衛消防隊の設置

火災等の災害が発生した時に、被害を最小限に食い止めるため、自衛消防隊を設置し各階ごとに地区隊を編成した。また隊員が常に任務を意識しておくため、自衛消防隊任務カードを作成し、各隊員に配布した。

③ 消防訓練の実施

実施日	内容	参加者(人)
6月 21日	平日に館内で火災が発生したことを想定し、入居団体職員による消火・通報及び避難誘導の訓練を行った。	50
12月 20日	土曜日に館内で火災が発生したことを想定し、入居団体職員及びボランティア団体等の参加による消火・通報及び避難誘導の訓練を行った。	50

④ 研修への参加

開催日	内容	主催	参加者(人)
9月 12日	事業所防災力UP研修（中級）	福岡市自衛消防連合会	2
10月 12日	事業所防災力UP研修（初級）	福岡市自衛消防連合会	2
9月 12日	当仁校区避難訓練	当仁校区自治連合会	2

12月6日	事業所防災力UP研修（上級）	福岡市中央区自衛消防連合会	1
12月13・14日	甲種防火管理講習	消防局	1
2月26日	消防（避難訓練コンサート）	東市民センター	1

#### 1.2. 苦情処理に関する取組み・対応（再掲P7）

「ご意見箱」の設置や利用者アンケートによる利用者の声をニーズとして汲み上げるとともに、利用者等から寄せられる苦情等は、指定管理者として、利用者目線でのサービス向上のための積極的な意見提案として受け止め、すべて共同事業体運営委員会等に報告し、回答、対応内容は迅速に掲示板に掲示した。

#### 1.3. 個人情報保護に関する取組み

プラザ指定管理における個人情報保護の取り扱いについては、「福岡市個人情報保護条例」並びに「福岡市社会福祉協議会個人情報保護規程」「㈱旭商会個人情報保護規定」に基づき適正な管理を行った。

会議室等及び図書・情報室の利用登録、施設予約・貸出については、「予約管理システム」として独自サーバーで管理し、アクセスもパスワードで管理するなど、部外者がアクセスできないよう管理した。

他に利用登録に伴う個人情報についても、必要最小限の情報を収集するとともに、関係者以外の目に触れないよう鍵付き書庫で管理保管した。

#### 1.4. 施設の維持管理に関する取組み

現場責任者及び副現場責任者を配置し、設備・舞台管理・予約受付・警備・環境衛生管理業務等の連絡調整や、施設管理に伴う各種業務に立ち会うとともに、随時、指導、助言等を行い、利用者が安全かつ安心して利用できる施設管理を行った。

また、小規模修繕等は、できる限り共同事業体で対応し修繕経費節減に努める他、維持管理経費及び修繕費の執行については、品質の安定継続を基本にし、適正価格について協議し、各関係規程に基づき執行した。

なお、施設管理に関する各種法令遵守施設管理（特に環境衛生管理業務）に関する法令については、法律改正に対応するため、随時確認を行った。

#### 1.5. 利用の許可に関する業務

条例第4条に規定する利用の許可を行った。

種別	件数(件)
事務室等	14
会議室等	10,967
合 計	10,981

#### 1.6. 利用の制限に関する業務

条例第6条に規定に基づき、プラザの管理上の指示又は指導に従わない者及び支障があると認められる者は利用の制限を行うこととなっているが、制限することはなかった。

なお、同条をもとに、新型コロナウイルス感染症蔓延時のマスク未着用での入館者について、着用への協力依頼を行った。

#### 1.7. 使用料の徴収に関する業務

条例第7条に規定する使用料の徴収を行った。

種別	件数(件)	金額(円)
事務室等	10	3,139,980

会議室等	923	7,439,210
駐車場	17,856	7,053,300
合 計	18,789	17,632,490

18. 使用料の減免に関する業務

条例第9条に規定する使用料の減免を行った。

種別	件数(件)
事務室等	14
会議室等	8,736
駐車場	8,510
合 計	17,260

19. プラザの施設、付属設備、図書、資料等の維持及び修繕に関する業務

実施協定書第7条の規定により必要に応じ修繕、備品購入を行い精算及び報告を行った。

(単位：円)

費目	当初予算額	補正予算額	最終予算額	執行額	精算額
修繕費	8,250,000	837,617	9,087,617	9,087,617	0
備品購入費	1,650,000	-837,617	812,383	811,752	631
合 計	9,900,000	0	9,900,000	9,899,369	631

20. その他市長が必要と認める業務

特になし

令和4年度 福岡市市民福祉プラザ指定管理決算書

(単位:円)

区分	予算	増減額	予算現額	決算額	差額	備考
収入	福祉プラザ施設管理経営 収入	217,808,000	0	217,808,000	217,807,369	631
	参加費収入	60,000	0	60,000	21,500	38,500
	利息収入	0	0	0	4,521	△ 4,521
	雑収入	0	0	0	89,273	△ 89,273
	事業区分間繰入金収入	360,000	0	360,000	90,000	270,000
	合計	218,228,000	0	218,228,000	218,012,663	215,337

人件費等	67,870,000	△ 3,897,609	63,972,391	60,731,136	3,241,255	
諸謝金支出	702,000	△ 52,560	649,440	649,440	0	
旅費交通費支出	238,000	△ 158,020	79,980	79,980	0	
研修費支出	50,000	△ 44,000	6,000	6,000	0	
消耗器具備品費支出	9,306,000	△ 3,939,826	5,366,174	5,273,078	93,096	
印刷製本費支出	221,000	△ 137,400	83,600	83,600	0	
光熱水費支出	37,177,000	7,266,783	44,443,783	44,443,783	0	
修繕費支出	8,250,000	837,617	9,087,617	9,087,617	0	
通信運搬費支出	1,000,000	△ 236,890	763,110	763,110	0	
会議費支出	10,000	△ 10,000	0	0	0	
広報費支出	960,000	△ 283,500	676,500	676,500	0	
業務委託費支出	78,878,000	587,494	79,465,494	79,160,255	305,239	
手数料支出	789,000	△ 22,925	766,075	766,075	0	
損害保険料支出	256,000	△ 64,850	191,150	191,150	0	
賃借料支出	5,202,000	△ 400,000	4,802,000	4,802,000	0	
諸会費支出	12,000	△ 12,000	0	0	0	
保守料支出	350,000	△ 22,038	327,962	217,789	110,173	
雑支出	38,000	579,724	617,724	617,724	0	
支払利息支出	22,000	10,000	32,000	21,710	10,290	
ファイナンスリース債務返済支出	618,000	0	618,000	617,866	134	
租税公課支出	6,279,000	0	6,279,000	4,278,657	2,000,343	
合計	218,228,000	0	218,228,000	212,467,470	5,760,530	

(収入)	(支出)	(残額)
218,012,663	—	212,467,470
	=	5,545,193

指定管理団体別決算書

〈收 入〉

単位:円

費 目	予算額	補正予算額	予算現額	決算額	差 異
共同事業体委託費収入	217,808,000	0	217,808,000	217,807,369	631
雑収入(経理区分間繰入金収入含む)	420,000	0	420,000	205,294	214,706
合 計	218,228,000	0	218,228,000	218,012,663	215,337

〈支 出〉

単位:円

費 目	予算額	補正予算額	予算現額	決算額	差 異
福岡市社会福祉協議会事業費	171,592,020	0	171,592,020	168,209,596	3,382,424
旭商会事業費	46,635,980	0	46,635,980	44,257,874	2,378,106
合 計	218,228,000	0	218,228,000	212,467,470	5,760,530

〈收 入〉 〈支 出〉 〈残 額〉

$$218,012,663 \text{ 円} - 212,467,470 \text{ 円} = 5,545,193 \text{ 円}$$

個別決算書

福岡市社会福祉協議会資金收支計算書 ..... P13~14

株式会社旭商会損益計算書 ..... P15

**資 金 収 支 計 算 書**  
 (自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位: 円)

勘 定 科 目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
収 入	事業収入	170,423,000	171,192,889	△769,889
	参加費収入	10,000	21,500	△11,500
	福祉プラザ施設管理経営収入	170,413,000	171,171,389	△758,389
	受取利息配当金収入	0	4,434	△4,434
	受取利息配当金収入	0	4,434	△4,434
	その他の収入	50,000	89,273	△39,273
	雑収入	50,000	89,273	△39,273
	雑収入	50,000	89,273	△39,273
	事業活動収入計(1)	170,473,000	171,286,596	△813,596
事 業 活 動 に よ る 収 支	人件費支出	34,730,328	34,358,199	372,129
	職員給料支出	22,172,820	22,124,404	48,416
	正職員	7,672,258	7,623,842	48,416
	嘱託職員	14,500,562	14,500,562	0
	職員賞与支出	5,522,160	5,522,160	0
	正職員	1,921,130	1,921,130	0
	嘱託職員	3,561,030	3,561,030	0
	短時間勤務の職員	40,000	40,000	0
	非常勤職員給与支出	2,318,154	2,318,154	0
	短時間勤務の職員	2,053,584	2,053,584	0
	諸手当	264,570	264,570	0
	法定福利費支出	4,717,194	4,393,481	323,713
	正職員	1,744,433	1,441,720	302,713
	嘱託職員	2,951,761	2,930,761	21,000
	短時間勤務の職員	21,000	21,000	0
	事業費支出	135,619,672	133,110,821	2,508,851
	諸謝金支出	649,440	649,440	0
	旅費交通費支出	79,980	79,980	0
	費用弁償	0	22,800	△22,800
	ICカードチャージ代	0	10,000	△10,000
	その他の旅費	0	47,180	△47,180
	研修費支出	6,000	6,000	0
	消耗器具備品費支出	4,926,174	4,833,078	93,096
	印刷製本費支出	83,600	83,600	0
	水道光熱費支出	44,443,783	44,443,783	0
	修繕費支出	9,087,617	9,087,617	0
	通信運搬費支出	763,110	763,110	0
	切手代	0	3,528	△3,528
	固定電話代	0	416,666	△416,666
	携帯電話代	0	35,577	△35,577
	インターネット代	0	145,511	△145,511
	プリバライズ代	0	47,465	△47,465
	その他の通信費	0	114,363	△114,363
	広報費支出	676,500	676,500	0
	業務委託費支出	61,963,117	61,657,878	305,239
	手数料支出	722,515	722,515	0
	保険料支出	191,150	191,150	0
	賃借料支出	4,802,000	4,802,000	0
	コピー機リース料	0	150,480	△150,480
	パソコンリース料	0	333,132	△333,132
	その他のリース料	0	4,318,388	△4,318,388
	租税公課支出	6,279,000	4,278,657	2,000,343
	保守料支出	327,962	217,789	110,173
	雑支出	617,724	617,724	0
	事務費支出	101,000	101,000	0
	福利厚生費支出	101,000	101,000	0
	支払利息支出	32,000	21,710	10,290

## 資金収支計算書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
施設整備等による収支	その他の支払利息支出	32,000	21,710	10,290
	事業活動支出計(2)	170,483,000	167,591,730	2,891,270
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△10,000	3,694,866	△3,704,866
その他の活動による収支	収入 施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支 出 ファイナンス・リース債務の返済支出	618,000	617,866	134
	支 出 ファイナンス・リース債務の返済支出	618,000	617,866	134
	施設整備等支出計(5)	618,000	617,866	134
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△618,000	△617,866	△134
その他の活動による収支	収入 事業区分間繰入金収入	360,000	90,000	270,000
	収入 事業区分間繰入金収入	360,000	90,000	270,000
	収入 その他の活動収入計(7)	360,000	90,000	270,000
	支 出 事業区分間繰入金支出	8,919,000	8,919,000	0
	支 出 事業区分間繰入金支出	8,919,000	8,919,000	0
その他の活動による収支	支 出 拠点区分間繰入金支出	1,081,000	0	1,081,000
	支 出 拠点区分間繰入金支出	1,081,000	0	1,081,000
	支 出 その他の活動支出計(8)	10,000,000	8,919,000	1,081,000
	支 出 その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△9,640,000	△8,829,000	△811,000
	予備費支出(10)	0 0	—	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△10,268,000	△5,752,000	△4,516,000
前期末支払資金残高(12)		10,268,000	57,189,002	△46,921,002
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	51,437,002	△51,437,002

# 損益計算書

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

令和4年度

株式会社 旭商会

(単位：円)

売上高	46,635,980
外注費	11,782,377
人件費	21,706,937
営業管理費	5,720,000
総務管理費	4,565,000
備品消耗品費	440,000
支払手数料	43,560 44,257,874
営業利益	2,378,106
預金利息	87
経常利益	2,378,193
当期利益	2,378,193